

# 生物地球化学研究室

教員名：高巢裕之

## ● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

海は生物資源の生産場であるとともに、地球環境の維持にも重要な役割を果たしています。現在、気候変動や人間活動の影響により、多くの海域において、貧酸素水塊の発生規模の拡大や海洋酸性化の進行など、様々な環境問題が顕在化しています。将来にわたり持続的に海から恩恵を受けるために、今後私たちが取るべき行動の道標になるような研究成果をあげることを目標にしています。

海洋生態系の基盤である栄養塩や有機物の循環過程(生物地球化学的循環)に着目し、気候変動に伴う海水温の変化や、陸域からの物質の流入が、海洋生態系の物質循環過程に与える影響を、乗船観測や、室内での生物学的・化学的分析、検証実験などを併用して調べています。



得られた成果は赤潮や貧酸素水塊といった環境問題の発生予測や予防に貢献します。

この他には、東日本大震災の巨大津波によって攪乱を受けた三陸沿岸域の生物相が、どのように回復していくのかを、水や底泥中に残存している「環境 DNA」の情報を手がかりに明らかにする試みも行っています。

## ● 先輩はどんなところに就職しているの？

新設の研究室なのでまだ卒業生はいませんが、以前の研究室の卒業生は、公務員、環境分析や食品、水処理関連の会社などに就職していました。